

# キャリア交通 貸切バス防災基本方針

## 1. 基本理念

当社は、お客様の生命および全従業員の安全確保を最優先とし、自然災害発生時における被害の最小化と、速やかな事業継続を図る。ハザードマップ等の科学的根拠に基づいた事前対策を徹底し、地域社会に信頼される「安全な移動手段」としての責務を果たす。

## 2. 行動指針

- **生命第一の原則**： 災害発生時、または発生の恐れがある場合、乗務員は運行の継続よりもお客様と自身の安全確保を最優先に判断し、避難行動をとる。
- **情報の収集と事回避**： 運行計画の策定段階および出庫前点呼において、運行ルート上のハザードマップ（浸水・土砂災害・津波等）を確認し、リスクが高いと判断される場合は速やかに迂回または運行の中止を検討する。
- **迅速な報告と共有**： 災害発生時は、速やかに運行管理者へ状況を報告し、会社は全車両の動静把握と適切な指示を行う。
- **地域との連携**： 災害時は可能な限り避難者への支援や自治体の要請に応じ、公共交通事業者としての社会的役割を遂行する。

## 3. 具体的な対処方法の枠組み

基本方針を具現化するため、以下のステップを運用基準とする。

項目	具体的な対応内容
リスク評価	運行ルート上の「土砂災害警戒区域」「浸水想定区域」をハザードマップで特定する。
事前判断基準	気象警報発令時やハザードマップ上の危険箇所を走行せざるを得ない場合の「運行停止・待機」基準を明確化する。
緊急時の通信	携帯電話不能時の代替連絡手段（ドラレコや SNS 等）を確保し、安否確認フローを確立する。
訓練と教育	ハザードマップの読み方、および災害発生時の避難誘導訓練を年 1 回以上実施する。

方針制定日 2026 年 1 月 1 日

Yahoo 防災速報

iPhone向け (App Store)  
(外部サイト)



Android向け (Google Play)  
(外部サイト)



わがまちハザードマップ

